

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第9回三郷区地域協議会

2 報告（公開・非公開の別）

（1）地域活性化につながる新しい三郷地区公民館の在り方に関する意見書について
（回答） （公開）

（2）諮問事項 新市建設計画の変更について（通知） （公開）

（3）三郷地区各種団体等との意見交換会開催結果について （公開）

3 議題（公開・非公開の別）

（1）自主的審議事項について （公開）

4 開催日時

令和4年12月22日（木） 午後6時30分から午後7時35分まで

5 開催場所

三郷地区公民館 集会室

6 傍聴人の数

1人

7 非公開の理由

—

8 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：竹内浩行（会長）、伊藤善一（副会長）、保坂裕子（副会長）

伊藤光夫、小山和美、荳戸 正、平田 清、平田伸一、山口典夫

吉田一彦、渡部弘美（欠席者1人）

・市役所：教育委員会社会教育課 宮崎参事、岩崎副課長

・事務局：南部まちづくりセンター 滝澤センター長、小池係長、難波主任

9 発言の内容

【難波主任】

・市村委員を除く11人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は竹内会長が務めることを報告

【竹内会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：渡部委員、伊藤光夫委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【滝澤センター長】

- ・配布資料の確認
- ・次第に基づき、議題の確認

【竹内会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

— 次第3 報告（1）地域活性化につながる新しい三郷地区公民館の在り方に関する意見書について（回答） —

【竹内会長】

次第3 報告（1）地域活性化につながる新しい三郷地区公民館の在り方に関する意見書について（回答） に入る。

9月30日付けで市に提出した意見書について、11月7日付けで回答が提出された。

この件について、市教育委員会社会教育課から説明を求める。

【社会教育課 宮崎参事】

- ・挨拶
- ・資料No.1により説明

【竹内会長】

今ほどの説明に質疑を求める。

【平田 伸一委員】

次期財政計画に載せるという話になっているかと思うが、進捗はどのような状況か。今年度末くらいになるのか等、どの段階なのかを教えてください。

【社会教育課 宮崎参事】

財政計画については、現在策定中であり、今年度中に完了する。計画期間は、来年度から令和12年度までとなる。その計画の中で、公民館だけではなく様々な施設を、それぞれの段階において整備を進めていくことになる。

計画に掲載されていても、実際の予算は単年度ごとに要求し査定を受けることから、具体的に「いつまで」「いつから」といったことは現時点で申し上げることはできない。

【竹内会長】

載せるべく進めている、と理解してよいか。

【社会教育課 宮崎参事】

この計画期間の中で進めていくということでご理解いただきたい。

【竹内会長】

他に質問などあるか。

【吉田委員】

施設設備の回答書に「過剰となる内容については」と記載されている。今現在、その過剰となる内容についてはどのようなものを考えているのか。

【社会教育課 宮崎参事】

例えば、当課が進めている三郷地区公民館も含めた地区公民館には、集会室や大小の会議室があるが、そういった会議室を設ける、それから、いろいろなことを行える和室を設ける、調理をするための調理実習室を設ける、地域住民が交流するフリースペースを設ける、いろいろな共用部分もあるが、基本的にそういった機能が、公民館としてまずは必要な機能と考えている。

【山口委員】

まだテーブルにあがっているかどうか分からない段階で、このような意見を言うことはおかしいが、整備計画の中では、新築を基本とするのか、あるいは既存の建物を改修とするのかなど、コンセプト等を分かる範囲で教えてほしい。

【社会教育課 宮崎参事】

以前にも説明したように、現状の計画では新築という方向で考えているところで

ある。

【伊藤光夫委員】

回答書の2行目に「現状において課題のある箇所について改善を図る」とあり、いろいろと三郷地区公民館を直していただきたい等の意見を出しているが、「どこを」「いつごろ」といったことが決まっていれば教えてほしい。

【社会教育課 宮崎参事】

全体の整備の中で新築するという事になれば、全てが新しいかたちとなる。

先ほどの話にあった、現在、不具合のある箇所、例えばトイレや照明の問題等については、これまでも様々な意見をいただいている。

トイレは、これまで扉もない状況であったが、新たに扉を取り付けた。そして、多目的トイレとして使用していたトイレを主に女性に使っていただき、新たに扉を付けたトイレを男性に使っていただくということで、区分けをしている。

この先、また新たな整備ということもあるので、そういったことを見据えながら、現状の施設の維持も考えていかなければならない。地域協議会などからこれまでにいただいた意見も踏まえながら進めていきたいと考えている。

【竹内会長】

・他に質疑を求めるがなし。

何とか前に進んでいるような気がする。

これまで扉がなかったトイレは、内側に新たに扉が取り付けられ、先ほど私も現物を確認したところである。

そういったかたちの中で、徐々に現状の悪いところを改善してくれているということであり、今後もそういった不具合等が改善されていくと思う。

以上で、報告（1）地域活性化につながる新しい三郷地区公民館の在り方に関する意見書について（回答）を終了する。

（社会教育課、退席）

【竹内会長】

次第3 議題（2）諮問事項 新市建設計画の変更について（通知）に入る。
事務局より説明を求める。

【難波主任】

・資料No.2により説明

【竹内会長】

・今ほどの説明に質疑を求めるがなし。

以上で、次第3 報告（2）諮問事項 新市建設計画の変更について（通知）を終了する。

— 次第3 報告（3）三郷地区各種団体等との意見交換会開催結果について —

【竹内会長】

次第3 議題（3）三郷地区各種団体等との意見交換会開催結果について に入る。
事務局より説明を求める。

【難波主任】

・当日配布資料No.1により説明

【竹内会長】

今ほど事務局から、11月29日に行った「各種団体等との意見交換会」の開催結果、発言等について説明があった。

・今ほどの説明に質疑を求めるがなし。

今後は、意見交換の内容を踏まえながら、「地域活性化の方向性」を作成していかなければならない。

グループワークやアイデア出し等を行いながら、いろいろなことを抽出し、考えていきたいと思っている。

他地区の「地域活性化の方向性」がいくつか出てきている。それらを理解、把握しながら、自分なりの意見というか、「三郷区はどうしたらよいのか」というところをまとめていければよいと思っている。

本日は、意見交換会の開催結果についての報告となるが、次回からは「地域活性化の方向性の作成」ということで、議論していきたいと思っている。

以上で、次第3議題（3）三郷地区各種団体等との意見交換会開催結果についてを終了する。

— 次第4 議題（1）自主的審議事項について —

【竹内会長】

次第4 議題（1）自主的審議事項について に入る。

前回の会議では、今後の自主的審議事項の進め方について、委員から意見をいただいた。

事務局でそれらの意見をまとめた。まずは事務局から説明を求める。

【難波主任】

- ・資料No.3により説明

【竹内会長】

本日は、前回に引き続き、自主的審議事項の今後の方向性について意見交換をした後、公民館と春駒の二つのテーマについて、それぞれ審議を終了するか、継続するかについて、採決を取りたいと思う。

まず、自主的審議事項「地域活性化につながる新しい三郷地区公民館の在り方について」、意見を求めたいと思う。

事務局の説明にもあったように、前回の時点で意見書の提出をもって一区切りとしてよいのではないかという意見が多数となった。

本日、市からの回答もあったので、それも踏まえて意見のある委員の発言を求める。

【渡部委員】

これまで別々に活動をしていたため、前回、私は公民館については触れなかった。意見書を出したということは分かるが、進捗が分からず、意見書を提出した過程も分からない。

そのため、公民館班の中でどのくらいの委員がゴールとしているのかということが重要ではないかと思う。事務局の説明では「委員全体のうち5人が一区切りとしてよいとの意見だった」と言っていたが、そうではないのではないかと考える。

【竹内会長】

今ほど渡部委員から、公民館班が全てここで一区切りだという意見に達すれば、終了してもよいのではないかとこの意見があった。公民館班を取りまとめていた保坂副会長は、前回の会議で欠席であったので、発言を願いたいと思う。

【保坂副会長】

荳戸委員と私が、前回の会議を欠席したと思う。

私は、公民館を建てて欲しいのではなく、地域活性化をしたいがために、その拠点となる場所として地区の公民館をこんなふうに住んで欲しい、という思いで自主的審議事項として委員の人たちと話し合った。

根本的な内容としては「地域活性化」であり、この三郷区をどのようにして地域活性化につなげていけばよいのか、11月29日にいろいろな団体からせっかく話を聞いたので、それを踏まえて今後も話し合いをしていきたいと思っている。

そのため、「公民館の在り方について」は、私は大事な、大きな一区切りとしてよいと思っている。

【竹内会長】

次に、同じく前回欠席された荳戸委員から発言願う。

【荳戸委員】

私も公民館班に関しては、ここで一区切りとしてよいと思う。

今度は公民館を活用するべく「地域の活性化」というところを話し合っていくことができればよいと思っている。

【竹内会長】

公民館班で意見書の提出が終わり、今回、市からの回答書をいただいたところということであり、ここで一区切りとすることがよいのか、あるいはまだまだ継続して意見を詰めていかなければならないところがあるのか、ということである。

ある程度の区切りなのかという気がしないでもないが、何か意見等あるか。

【伊藤光夫委員】

以前も話したとおり、公民館班については、市からも回答をいただいております、地域の各種団体の方々からも意見があったように、今後は三郷小学校跡地の利用ということもあるので、公民館の活性化に関する議題については一区切りでよいと思っている。

【竹内会長】

いろいろな意見をいただいた。

公民館班の委員については、意見書の提出をもって一区切りという考えなのだと思います。

また、前回の会議を欠席した保坂副会長と荏戸委員も、一区切りという意見であった。

地域活性化につながるものについては、まだまだこれからの審議の対象であることを私も認識しているところである。

では、自主的審議事項「地域活性化につながる新しい三郷地区公民館の在り方について」、審議を終了とするか、継続するかについて、採決を取る。

終了するとしてよいと思う委員は挙手願う。

(9人挙手)

では、公民館の在り方について、自主的審議を終了することとする。

次に、自主的審議事項「『春駒』の伝承について」である。

事務局の説明にもあったように、春駒については、「何をもってゴールとするのが難しい」「まだ終わりが見えない」といった意見のほか、「まちづくり振興会の実行委員として動いていくのであれば、自主的審議事項として協議しなくてもよい」という意見もあった。

春駒に関する自主的審議事項を継続してくのか、または一区切りとして、新しい自主的審議事項を検討していくのかについて、意見を求めたいと思う。

春駒については、来年度の「地域独自の予算」にエントリーをして動いているところもある。

渡部委員、何か意見などあるか。

【渡部委員】

今回、DVDを作成したが、その過程の中で地域協議会の委員としてではなく、実行委員としての会議がかなりの回数あった。

実際、同じ人間の集まりであるが、今後の活動は、実行委員というか、地域協議会の委員ではないほうの体でやっていけるのではないかと私は思っている。

【竹内会長】

再び、欠席していた保坂副会長から発言を求める。

【保坂副会長】

地域協議会委員として今後、どう進めていくのかといったときに、やはり実行委員があるため、役割分担を明確にして、例え人が同じであっても、組織の中で動くということであれば、地域協議会委員としての自主的審議事項は、大きな一区切りをしなければならない時期になってきているのではないかと思っている。

【竹内会長】

平田伸一委員は、いろいろなかたちで動いていただいた経緯があると思うが、意見等あるか。

【平田伸一委員】

実際には、これまで実行委員会として動いてきたことが事実である。とは言いながらも、三郷区地域協議会の委員が中心となって、実行委員会を動かしてきたということが事実なわけである。

そして今年度、まちづくり振興会の中に実行委員会を作ったが、実行委員会としての事業は終わり、来年度はさらに違う、もう少し大きな、発展的な組織を作っていこうという考え方で動いている。

地域協議会の本体のことから考えると、それはもう、まちづくり振興会の一つの実施部隊のようなかたちで組織していくことだと思うので、それでいいのかと思う。

ただ、地域協議会の委員の立場とは、何なのか。

まさしくゴールが見えない。スタートしたときからゴールが見えていないのであるが、言い出しっぺであり、そして、何らかのかたちで地域の中で何かが動いていき、一つのかたちあるものができていく、残っていくということが、一つの成果だ

とすれば、ステップは一つ過ぎているような感じがする。

そのため、令和4年度末まで実行委員会として事業を実施しているので、そちらの収束を待って、地域協議会としては一区切りだという感じはする。

しかし、地域協議会として、そのようにいい出しっぺでやってきたことに対する責任はあるような気もする。それはどうしたらよいのかと思っている。

この場にいる地域協議会一人一人がまちづくり振興会の理事や評議員等、全員が役員になっているので、そういう意味でまちづくり振興会の役員の一人として、今後とも関わって行ってほしく、また関わっていかないとできない活動なのだろうという思いである。

【竹内会長】

春駒への熱い思いから発言され、今回の自主的審議にまで発展したというところもある。小山委員、何か意見等あるか。

【小山委員】

私は、前回の意見交換会を欠席したので、内容については配布資料を見たものしか分からないが、メンバーは一緒であるため、どういうものなのか私も詳しくはよく分からない。

春駒に関してはゴールが見えていないところもあるが、一つの区切りとしては、DVDが出来あがってくることが区切りではある。ゴールはまだまだ先のことであるが、また引き続き、続けていくことができればよいと思っている。

【竹内会長】

次に、伊藤副会長、何か意見等あるか。

【伊藤副会長】

この「春駒の伝承」の活動に一年以上を費やしてきたが、私としては、本当に何も無いところから活動を始めて、この伝承をいかに、どうしていけばよいのかというのを皆で考えてきた。

それから見ると、今回、DVDを作ることができたということが、一つのきっかけだと思い、大きな成果だと思っている。

今はまちづくり振興会の中に実行委員会というものがあるので、今度はその中

で地域に広めていけるような活動をしていってほしいと思う。

そのため、地域協議会とすれば一区切りとしてよいと思う。

令和4年度で自主的審議事項は終了してもよいかと思う。

【竹内会長】

いろいろな意見をいただいた。

伊藤副会長の発言にあったように、何も存在しなかったところから実行委員会が立ち上がり、そして小山委員の言うとおりに、DVDの作成までできた。そして平田伸一委員の発言にあったように、何かの一つの動きがあるということであった。

いずれにしても、どこかの団体のところで「春駒」というものが動いているということは事実だと思う。そういったかたちの中で、今後とも動いていくことができればよいとの思いが、各委員の中にあると思っている。

では、自主的審議事項「三郷区の郷土芸能 無形文化財『春駒』の伝承について」、審議を継続するのか、終了するのかについて、採決を取りたいと思う。

【平田伸一委員】

公民館班のことも含めて、いつの時点で切り上げるのかははっきりさせてほしい。

【竹内会長】

今一度、発言願う。

【平田伸一委員】

自主的審議事項をこれでやめるということだと思うが、では、いつをもってやめるのか、それをはっきりさせてもらいたい。公民館についても同様である。

先ほど、それを確認できていなかった。

いつ、どの時点で終了とするのか、それをはっきりさせた上で採決してほしい。

【竹内会長】

この会議をもって終了とする。

そのため、次回の会議からは「地域活性化につながる新しい三郷地区公民館の在り方について」と「三郷区の郷土芸能 無形文化財『春駒』の伝承について」は、自主的審議事項として議題にあがることはない。

今後、復活する場合はあるかもしれないが、本日の採決をもって終了というかた

ちを取りたいと思っている。

後ほど説明するつもりであったが、今後は新たなかたちでの自主的審議事項となると思う。

違うかたちでの「公民館の在り方」についての自主的審議事項となるのか、「春駒の伝承」についての新しい自主的審議事項となるのかについては、改めて地域協議会の中で確認し、意見の出し方次第で変わっていくと考えている。

これまで行ってきた自主的審議事項については、本日の採決をもって、一区切りで終了としたい。

先ほど採決いただいた「公民館について」は、本日をもって自主的審議事項は終了というかたちとしたいと思う。

平田伸一委員、それでよいか。

【平田 伸一委員】

本日、この場で採決を取ると、そういう結果になると思うが、とにかく、二つあったものがこれでゼロになるわけである。今後どうするのかについて、議論しなければいけないような気はする。やはり、それとセットで議論しなければいけない部分だと思う。

今ほど話にあった「公民館の在り方について」は、まだ関わっていかなければならない。あるいは今後、小学校の統廃合問題もあるわけである。そういったことは、地域の中で大きな課題であると思う。

そういったことに関わっていく等、そういうものがなくてもよいのか。

「それはまた次回」となるとは思いますが、考え方としてどうなのか。

【竹内会長】

正副会長の中では、これを一つの終了として、次回は新しいかたちとして考えていきたいと思っている。

「公民館の在り方」「春駒の伝承」についてもそうだが、やはり今回の意見交換もそうだが、いろいろな意見をいただいた。小学校の適正配置についても、同じ教育委員会の中で進んでいる話であり、本当にそれでよいのかというところもある。そのため、地域住民から改めて意見も聞いていかなければ分からない話である。中に

は、「既に統合が決まった」くらいのお話をされる方もいるが、まだまだ、これから詰めていかなければいけない話であるので、地域協議会としても一つの大きな課題かと思っている。

それを今後の協議の中で進めていき、自主的審議事項まで発展させるのか、その他にもいろいろなかたちがあると思う。

いずれにしても、皆で協議をしながら、そして地域の人たちと意見交換等を行うなどして、タイミングを取りながらがっちりと詰めていきたいというところがある。それは、地域協議会の協議の中で考えていきたいと思っている。

まだ「春駒の伝承」については採決を行っていないが、採決の結果によっては、本日で二つの自主的審議事項を終了として、次回以降、しっかりと新たに協議していきたいと思っている。

次回からは「地域活性化の方向性」の作成も出てくるので、そういったことがすべて絡んでくる。今回、これで一つの区切りとして、一旦クリアにしていきたいと思っている。

改めて、自主的審議事項「三郷区の郷土芸能 無形文化財『春駒』の伝承について」、審議を継続するのか、終了するのかについて、採決を取る。

審議を継続したいと思う委員は、挙手願う。

(挙手なし)

採決の結果、継続を希望する委員がいなかったため「春駒の伝承」については、本日をもって一旦終了とする。

今ほど平田伸一委員より意見をいただいたが、次回の会議から新しい自主的審議事項のテーマ付けを検討していく必要がある。それが何になるのか、小学校の問題なのか、春駒になるのか、公民館の在り方についての新しい議論になるのか等、改めて協議していきたいと思う。

長く自主的審議事項としてきて、公民館、春駒ともにある程度の成果が出てきたので、今回で一区切りとしたいと思っている。

本日いただいた意見等を踏まえて、正副会長で検討し、次回の会議で問いかけながら、テーマ付けをしていきたいと思っている。それが今後のテーマになってくる

かと思っている。

各委員の身近にも、いろいろな課題や自主的審議事項として進めていかなければならないような課題もあると思う。

現時点では、小学校の統廃合問題が一番ホットな話題なような気もするが、それも含めて、各自、近所や地域で意見収集をしていただきたいと思います。

また、いろいろなかたちでの意見交換会や協議等の場ももちたいと思っている。

以上で、次第4 議題（1）自主的審議事項について を終了する。

— 次第5 事務連絡 —

【竹内会長】

次第5 事務連絡に入る。事務局から説明を求める。

【滝澤センター長】

- ・次回会議：令和5年1月31日（火） 午後6時30分から 三郷地区公民館
- ・次々回会議：令和5年2月28日（火） 午後6時30分から 三郷地区公民館
- ・当日配布物：三和区地域協議会の「地域活性化の方向性」

板倉区、大湊区地域協議会の意見書

【竹内会長】

- ・事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。
- ・本日の議題は全て終了した。
- ・会議の閉会を宣言

10 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。